◇会長挨拶

谷口恭子

皆様のご協力のお陰で、H15年度も何とか切り抜ける事が出来、本当に有難うございました。厚く々く感謝と御礼を申し上げます。私達が奨学金を送り始めた頃は、タイの義務教育は小学校だけで、その卒業式に売春婦になる子供を求めて業者が学校に来ている状況でした。奨学金のお陰で、それまで親が喜ぶからと喜んで売春婦になっていた子供達の意識が変わり、進学する子供が多くなったからか、タイ政府は中学を義務教育に改正し、売春婦が減った事やエイズ支援始めた事で、エイズ感染率や死亡率が下がり始め、タイ政府はエイズ患者だけの医療費を無料に改定されました。ミシンプロゼクトもお陰様で、殆どミシンで自立し、自立に自信の無い人は、グループで収入を上げる等、それ迄タイには無かった女性グループ活動も始まる等、皆様のご協力のお陰で、支援の効果が上がり始めた事は嬉しい事です。然しエイズは孤児の養育費や体力をつける為の養魚費や大豆製品(エイズ患者の健康には特に有効)等の支援が必要であり、奨学金、エイズの責任者であるトム(カニタ赤塚)さんから、更に新しくエイズ支援として、患者達にゴムの樹を植えさせたいので、その苗木代を60万円位追加支援して欲しいと要望されましたが、それだけ資金が集まるか‐‐‐。希望を叶えてあげたいのは山々ですが、国際ボランティア貯金は5年以上は継続できないので、打ち切り。大口の支援金も減少傾向です。会費と寄付金は、殆ど谷口農場の支援とエイズの不足分を補うことで精一杯です。その支援額が減少すれば、谷口氏の農場経営や青年教育を減らさざるを得ない事になるのです。地球の摂理に沿った循環式農法が世に認められ、普及しようとしている大事な今、その活動資金を減らさなくても良いように、更なるご協力をと祈っています。果樹の森も、苗の希望者は増加する一方で、多い年は２００万円以上支援できましたが、昨年は50万円しか出来ませんでした。一口20万円は高いようですが、事業の記念や、子供達の誕生、或いは香典返し等でご協力下さいませんでしょうか？

奨学金は、中学生は義務教育になったので、歩いて通学できる子供は不用になりましたが、未だ山には中学はありませんので、山の子供は寮費等必要ですし、一方、高校・大学に進む子供が急増し、中学生の年3万円を、高・大の生徒に廻さざるを得なくなりました。中学卒で社会に出るより、高・大卒が多くなる事は、それだけ社会の向上に有利ではないでしょうか。この様に(タイの進学率が)好転しつつあることは、私の「人作り」事業の一端として、大変嬉しい事です。どうぞ真の世界平和の為に、暖かい地球家族の基礎づくりに、もっともっと身の回りの物を大切にして、更なるご協力を願い上げます。

この度、谷口巳三郎先生は、タイでの数々の実績が認められ、生地の熊本県八代郡坂本村より、名誉村民賞(第１号)を受賞されました。当日受賞後先生は、坂本中学校体育館にて「錦の衣の下にあるもの」との演題で、“次代を担う若者に懸ける思い”を大勢の聴衆に向かって熱っぽく語り掛けられました。

平成 15 年度　行事報告

H15

9/23　役員会　於：三真土地建物
9/26　谷口巳三郎氏の毎日国際交流賞授賞式　於：毎日新聞大阪本社
9/28　総会、巳三郎氏受賞記念講演　於：熊本市女性センター
10/2　巳三郎氏講演　熊本県玉名中央ロータリークラブ
10/2　出版御礼廻り「エイズ最前線」（県庁、蟻田氏、熊日、毎日）
10/5　会長講演　熊本県富合町文化会館
10/11 熊本県海外研修生歓迎の月見茶会　於：会長宅（希郷庵）
10/27 明治屋本店(東京)亀沢･安田氏会長宅来訪、発刊誌[嗜好]569 号記事のインタビュー
11/3　蓮華院大祭　タイ製品販売（安田）

H16

1/17 ～ 24　第 11 回訪タイツアー（小林夫妻、進、東、吉田、坂本、高木、徳永、安田）
2/9　会長講演　坂本中学校全校生
4/12,.13,14　巳三郎氏栃木支部訪問、講演
4/15　谷口巳三郎氏坂本村名誉村民章贈呈式・巳三郎氏記念講演　於：坂本中学校
4/19,20　巳三郎氏鹿児島訪問　鹿児島大学にて講演
4/22　巳三郎氏講演　玉名市倫理法人会
8/31　谷口巳三郎著「熱帯に生きる」出版